

常に活動を見直して

充実を喜び合おう

専門部の改編

今年度のPTA会員数は、79人(教職員を含む)で年々減少しています。

昨年度のPTA理事会で、今後の専門部の活動の在り方について協議し、三つの専門部を二つに改編したらどうかという案が出されました。

そこで、広報指導部、事業部、保健体育部の3部のうち、広報指導部と事業部を一つにして指導事業部としました。部員増により、各部の部員の負担を軽減することができると考えたからです。

指導事業部の活動

広報指導部と事業部を



保護者と一緒にスイートポテトを販売する子どもたち (PTAバザー)

一つにしましたが、活動内容は、これまでの二つの専門部の活動を引き続き行います。主な活動内容は、次の五つです。

- ① 年3回の奉仕作業(5月・8月・3月)
- ② PTAバザー(10月)と年3回の空き瓶回収(奉仕作業と同じ)
- ③ 年3回のPTA新聞発行(各学期に1回)
- ④ 年2回のスクールゾーン委員会開催と通学路点検(5月・3月)
- ⑤ 長期休業中の校外補導(8月・12月・3月)と市校外生活指導連絡会の出席(6月・11月・2月)

奉仕作業とPTAバザーは、原則としてPTA会員全員で行っています。指導事業部は、実行委員会前の資料作成及び実行委員会での司会進行及び資料説明を行います。昨年度は、10のブースを出して行いました。各学年とまつばら会(おやじの会)と事業部が3ブースでした。事業部は、野菜と海産物、無償提供品を担当し、部員を5、6人配置しました。

当日は、バザーを楽しみにしていた校区内外の方々が、開始時刻の11時

指宿市立今和泉小学校 PTA会長 後迫 芳周

前からお目当てのブースに並んでいらつしやいました。また、高学年の子どもたちも手伝いをしてバザーを盛り上げていました。わずか2時間でしたが、多くの方が来場し、大盛会でした。

このように、奉仕作業やPTAバザーを含め、指導事業部の内容を確実に把握するために、部長は、副部長からの持ち上がり制にしています。

バザー収益金を子どもたちに還元

本校PTAでは、バザー収益金の一部を、150周年記念事業積立金や全校選書会に充当しています。

全校選書会とは、読書活動充実の一助として、子ども一人一人が自分の購入してほしい1冊を選び、その本が図書室の書架に並びます。このことが、図書室に行く回数が増え読書への意欲につながる

全校選書会で、自分の好きな本を目を輝かせて手に取る子どもたちの姿が、来年度もPTAバザーを頑張ろうという会員のやる気につながっていると感じています。

今後、児童数の減少に伴い、PTA会員も減少し、現在のPTA活動を続けることが難しくなっていくことが予想されます。常に一つ一つの活動を見直し、会員が無理なく

継続していくことが大切だと思っています。

また、一人でも多く会員が協力できる体制づくりを進めていきたいと考えています。

子どもたちの健やかな成長に寄与するPTA活動をめざして。



自分で選んだお気に入りの一冊の本を手にした99人の子どもたち (平成26年度 全校選書会)